








経皮内視鏡的胃瘻造設術を受けられる（前経管食用） _____ 様へ

福井赤十字病院 消化器科

	手術前日	手術当日	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目		
月 日	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/		
目標	・手術後の経過が良好で、胃瘻から経管食が開始でき、下痢・発熱の症状がなく、順調に経管栄養の管理ができれば退院になります											
検査	<ul style="list-style-type: none"> 便を出すために浣腸又は坐薬を挿入します 	<ul style="list-style-type: none"> 呼び出しがあれば、ベッドのまま放射線棟まで行きます 胃瘻造設後、痛みがあれば痛み止めをしますので、お申し出ください 	<ul style="list-style-type: none"> 採血があります  <ul style="list-style-type: none"> 胸部と腹部のX線写真を撮ります  <ul style="list-style-type: none"> 1日1回胃瘻挿入部のスキンケアをします 		<ul style="list-style-type: none"> 採血があります 				<ul style="list-style-type: none"> 採血があります 	<ul style="list-style-type: none"> 抜糸します 	退院日	
治療		<ul style="list-style-type: none"> 朝から点滴をします 	<ul style="list-style-type: none"> 抗生剤の点滴が朝夕にあります 栄養の点滴があります 	→			<ul style="list-style-type: none"> 状態をみて、抗生剤を続けることもあります 	→			<ul style="list-style-type: none"> 下痢や発熱の時は点滴をします 場合によっては流動食が中止になる場合があります 	7日間
安静		<ul style="list-style-type: none"> ベッド上安静です 身体の向きを変えることはできません 	<ul style="list-style-type: none"> ベッドで上半身を起こすことができます 							<ul style="list-style-type: none"> 制限はありません 		
栄養	<ul style="list-style-type: none"> 24時以降は飲んだり食べたりしないでください 	<ul style="list-style-type: none"> 朝より絶飲・絶食です 	<ul style="list-style-type: none"> 消化器の医師がお腹の診察をします その後お昼から水分を注入します 	<ul style="list-style-type: none"> 朝昼水分を注入します 昼から食事が開始になります 	<ul style="list-style-type: none"> お腹の状態をみながら注入の量が増えていきます 							
清潔	<ul style="list-style-type: none"> シャワー浴又は身体を拭きます お臍の掃除をします 		<ul style="list-style-type: none"> 身体を拭きます 	<ul style="list-style-type: none"> 体を拭きます 	<ul style="list-style-type: none"> 体を拭きます 	<ul style="list-style-type: none"> 抜糸後、許可があれば入浴ができます 						
検温		<ul style="list-style-type: none"> 胃瘻造設後、30分、1時間、2時間、その後は翌朝まで2時間ごとに観察をします 										
患者様への説明	<ul style="list-style-type: none"> 主治医が手術の説明をします 看護師が手術に必要な事を説明します 腹帯を準備してください 薬の確認をします 	<ul style="list-style-type: none"> 御家族の方は院内でお待ちください 手術後は挿入した管が抜けないう、つなぎの服を着用します。場合によっては手袋をしていただくこともあります。ご了解ください 	<ul style="list-style-type: none"> 経管食注入開始より、チューブ内に酢水を通します（汚れやつまりを予防するためです） お酢をご用意ください 						<ul style="list-style-type: none"> 介護が必要な方は、今後の生活についてご相談させていただきます 	<ul style="list-style-type: none"> 看護師が退院後の生活について説明します 退院療養計画書をお渡しします。署名の上お出しください 		
説明者												

※状態に応じて予定が異なる事も有ります。何か質問があれば看護師にお聞きください

主治医 () 看護師 ()

2022. 4. 20



終了時の指導

胃瘻は外から引っ張ることで、簡単に抜けてしまいます。
流動食を接続する時やはずす時、着替えの時など引っ張らないように注意してください。

もし胃瘻が抜けてしまったら直ぐに受診してください。

胃瘻の交換の目安は半年から一年程です。

(胃瘻交換は胃カメラをせずにできます。)

予約はいりませんので消化器外来を受診してください。

下痢、嘔吐の可能性が有りますので最初の内は一時間に 100ml 以上

注入しないでください。

薬も一気に注入せずゆっくり入れてください。

注入中はベッドを 45° 程起こすか、座位にしてください。

(流動食の逆流防止のためです)

その他『胃瘻を受けられた患者様へ』『胃瘻ケアガイド』のパンフレットを
ご参照ください。

_____様の使用されているカテーテルは以下の通りです。

カテーテルの会社名 () 種類 () Fr ()